



耐震リフォームのご紹介



今回は住宅を耐震リフォームした事例をご紹介します。
 金沢市泉野町で昭和 34 年に施工され学童保育として去年まで使用されていた建物です。
 築 50 年以上経過していましたが、土台・柱に能登ひばを使用しており、調

査をしたところ一部シロアリの被害があった以外は、しっかりとした建物でした。
 市の助成金を受け、基礎の補強で、市の耐震担当の方と何度も打ち合わせを行い、現行の耐震基準に合致した建物になりました。

再利用

エコが重視されている今、缶、ペットボトル、紙類、家電等々。これら様々なものをリサイクルするという意識は、世間に幅広く浸透しています。

ただ今の主流であるリサイクルには、再利用のために膨大なエネルギーを消費し、さらに品質的にも中古品としての価値が下がってしまうという難点があります。これは、リサイクル前後で物の価値を下げってしまう“ダウンサイクル”と呼ばれています。ところがここ最近、これら旧来のリサイクルを超えた“アップサイクル”が大きな注目を集めています。

アップサイクルとはごみを再利用しながらも付加価値を加えより高品質な商品を生み出すリサイクルの一種です。たとえばテント用膜材の切れ端を材料にスポーティーなデザインのバッグへと変身させたり、有名ブランドの布の切れ端をインテリアの小物として再利用したり等が挙げられます。

木材にしても切れ端などで、積み木などのおもちゃを作ることでもできます。これからは再利用も付加価値が必要になってきます。



七五三



長男恭丞(きょうすけ・写真右)は4歳に、次男の隼平(しゅんぺい・写真後ろ)は2歳になりました。

先月七五三で、神社にお参り。日曜日でしたので、たくさんの子供連れの家族でにぎわっていました。

特に長男の恭丞は羽織袴を着るのも嫌がって、着させることに30分以上かかりました。隼平も七五三でしたが、2年後ということで普段着のまま。右の写真は、別の日に撮影したもので、隼平は貸衣装です。写真撮影の時も着させることに苦労しましたが、大きくなるにつれて嫌がるのが少

くなればいいのですが…😓

前回に引き続き木材利用ポイントのご案内



21,000 ポイント。外壁の場合は 7,000 ポイントとなります。(新築の場合は、ポイント数が少なくなります)

商品との交換は 1 ポイント=1 円と考えれば、おおよその目安となります。工事の場合は、あくまでも住宅が対象となります。木材製品やペレットストーブ・薪ストーブ購入の場合は、指定の製品を購入する場合にポイントが付与されます。

来年の 3 月 31 日までに工事着手の必要があるのでご注意ください。

国産材をたくさん使って、日本の森林・林業を守る取り組みはこれからも続けてほしいものです。

協力業者さん紹介



今回ご紹介するのは久保瓦商店の久保さんです。屋根瓦施工の際はいつもお願いしています。久保さんも私と同じ 2 代目で、先代の時からのお付き合いです。(写真がぼけており申し訳ございません)

「久保です。瓦は家の一番上になるところで過酷なところ。それだけに丁寧な仕事を日々心がけております。これからもよろしくお願いいたします!!」

編集後記

今年は現場仕事に振り回され、「この子は通信」も発行が、まともに出来ませんでした。新たな年は、そういうことのないようにしたいものです。次号は3月の予定です。よろしくお願いします。 東 武志

大六さん 作:ひげくま



昭和36年創業 おつとあなたのお抱え大工



株式会社 相互建設

〒971-8056 金沢市押野1-27
TEL 076-241-8668 FAX 076-241-8614
URL www.sougokensetsu.com
e-mail info@sougokensetsu.com